

ハンドボール

1021

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 フロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 アリーナB-女43

年月日 2023 年 7 月 29 日 (土)
 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公 式 記 録 用 紙

A	昭和学院高等学校										宮崎学園高等学校										B
都道府県		市町村		会場		会場										回戦					
北海道		函館市		函館アリーナBコート		準々決勝															
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m70-7m75	A	B							
	17	8		32	23																
7m得点/総数	A		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B	7m得点/総数								
	2/2		1	2	後3				1	2	3	2/3									
			2940	2047					2417												
No.	昭和学院					G	W	2'	D	DR	No.	宮崎学園					G	W	2'	D	DR
1	関口 華恋										1	矢野 花恋									
2	赤橋 愛未					6					2	甲斐 百華									
3	荒井 七香					3					3	山田 杏					2				
4	杉山 日菜					3					4 c	福留 凜々杏					4		1		
5	吉田 心					3					5	岸本 風香					5		1		
6	星野 友利					1		1			6	樋脇 奏					1				
7	加藤 真央					2		1			8	八幡 結音					2				
8	中村 真心					6					9	桑山 日和					6				
9	齋藤 史歩					1					10	永田 未来					2				
10	倉持 愛泉					2					11	大岐 麻歩									
12 c	堀内 雪羽										12	藤崎 ほのか									
15	永井 桜莉					1					13	森 結希					1				
17	牧 琴音					1					14	吉松 夢乃									
18	アシュール 莉麻					3					16	下宮園 莉央									
監督A	佐藤 奏吉										監督A	黒木 聖子									
役員B	田代 佳克										役員B	岩崎 未羽									
役員C	町澤 凜花										役員C	園師 万美子									
A	佐藤 奏吉					チーム役員A署名					黒木 聖子					B					
特記事項																					

レフェリー	河野 翔保	小笠原 龍太	小笠原 龍太	河野 翔保
TD	米内山 壮之	齋藤 利明	米内山 壮之	齋藤 利明
MO	平松 裕		平松 裕	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

22

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2023年7月29日(土)		会場	函館アリーナBコート	
種別	女子		回戦	準々決勝	
チーム名			チーム名		
昭和学院高等学校			宮崎学園高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
32	17	前半	8	23	
	15	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

昭和学院と宮崎学園の対戦となった準々決勝は長身選手をトップに配置した高さのある3-2-1ディフェンスで臨む昭和学院に対し、宮崎学園は6-0と5-1の可変ディフェンスでの戦い。

試合開始序盤は昭和学院がロングシュートとサイドシュートでバランスよく得点を重ね、宮崎学園は高さのある布陣に対する裏へのポストパスを中心に攻撃を組み立てていく。

しかし、徐々に昭和学院のディフェンスに対し、宮崎学園は思うようなパスがまわせず、厳しいところでのシュートを強いられ、得点が積み上げられなくなっていく。対する昭和学院はRW、RBのロングシュート、サイドシュートを中心としたセットオフenseで順調に得点を積み重ね、前半を17-8で折り返した。

後半開始早々、宮崎学園は走るハンドボールで速攻により得点を連取するも④番退場により一人少ない展開となってしまう。しかし、ポストへのパスやバックプレイヤー⑨番のカットインとロングシュートで19-13と徐々に点差を詰め始める。

しかし、対する昭和学院もRBのロングシュートやLWの速攻、CBのロングシュートなどでテンポよく得点、キーパーの落ち着いた好セーブもあり26-13と再び点差を引き離しにかかる。

宮崎学園はバックプレイヤー⑨番、PV⑤番の連続得点で追いつがるも後半20分で28-19となかなか点差が縮められない。

後半は両者ゆずらず1点をとりあう展開となったが、最終スコアは32-23と昭和学院が前半のリードを守り切り、1-1を突破されない堅いディフェンスとキーパーセーブによる高い守備力とバックプレイヤーの強力なロングシュートを中心としたセットオフenseの攻撃力の光る試合となった。

記入者

神 亮佑